

【別紙2】県内市町の資金不足比率の状況

事業	団体	R2年度		R元年度		備考
		資金不足額 (百万円)	資金不足 比率 (%)	資金不足額 (百万円)	資金不足 比率 (%)	
病院	西宮市	-	-	62	1.3	前年度に比べ入院患者が減少し、医業収益は悪化したが、新型コロナウイルス関連補助金が措置されたことにより資金不足解消。
	宝塚市	905	8.4	1,504	13.5	入院・外来ともに患者数が減少したが新型コロナウイルス関連補助金が措置されたことにより資金不足比率が改善。
	川西市	315	8.9	461	13.9	指定管理者制度の導入に伴い、事業規模は減少したが、人件費等が削減でき赤字が縮小されたことと市からの繰入金で資金不足額も減少し、資金不足比率が改善。
	加西市	-	-	498	10.8	入院・外来の単価が増加し、医業収益が増加したことと新型コロナウイルス関連の補助金により資金不足解消。
	豊岡病院 組合	-	-	246	1.3	入院・外来ともに患者数が減少したが新型コロナウイルス関連補助金が手厚く措置されたことにより資金不足解消。
交通 自動車 運送	神戸市	1,240	15.5	1,718	17.5	新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛の影響による乗車料収入の大幅減少によって、資金不足額は拡大したが、特別減収対策企業債を発行したことにより資金不足額の拡大を防ぐことが出来たもの。

● 経営健全化基準・・・資金不足比率20%以上

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額(流動負債－流動資産－解消可能資金不足額)}}{\text{事業の規模}}$$